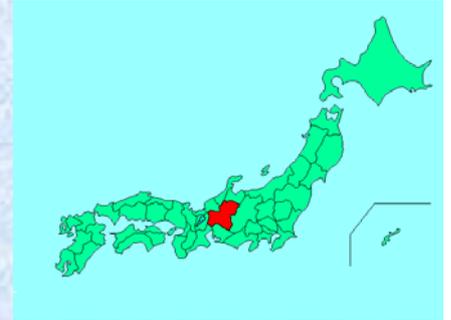




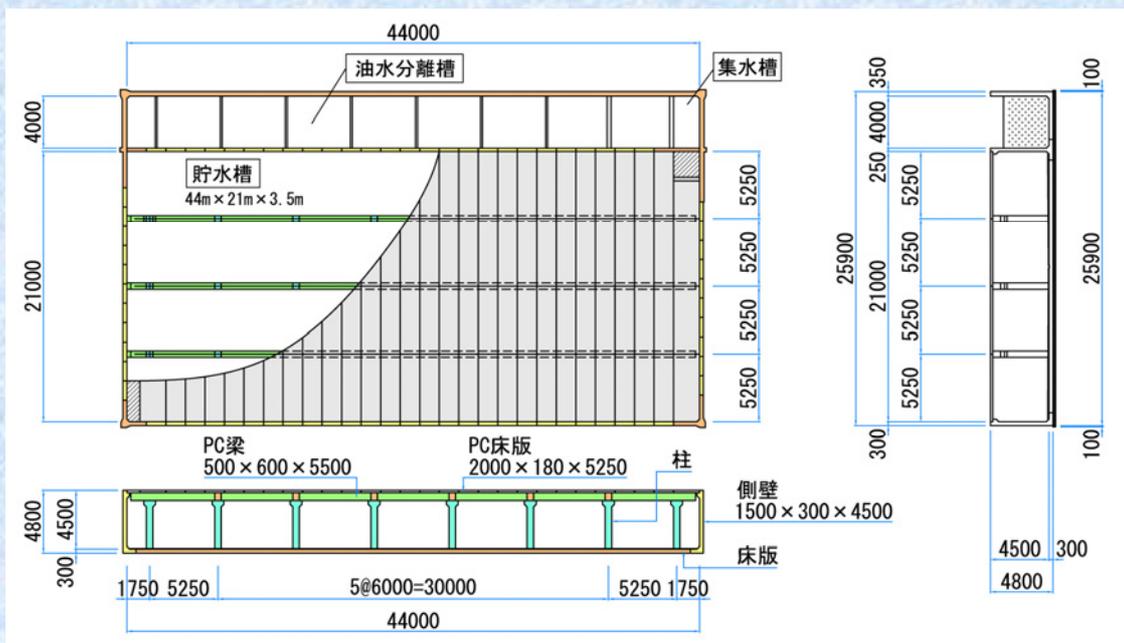
## かみおかあえんそうごうちょうせいち 神岡亜鉛総合調整池



神岡亜鉛総合調整池は、神岡鋳業㈱の亜鉛製錬工場の付帯施設として、貯水槽 3000m<sup>3</sup>と油水分離槽 500m<sup>3</sup>とを併設したコンクリート構造の貯水槽として計画されました。

調整池は、工期短縮および土地の有効利用を目的として、プレキャスト部材を多用したプレストレスコンクリート（PC）構造の矩形貯水槽として設計されました。さらに、貯水槽部の上屋は工場駐車場として利用できる構造となっており、多目的な施設として平成 18 年 7 月に竣工しました。

### ◆一般図



### ◆構造諸元

工事名：神岡亜鉛総合調整池新設工事

発注者：神岡鋳業株式会社

設計者：三井住友建設株式会社

位置：岐阜県飛騨市神岡町（神岡鋳山亜鉛製錬工場内）

構造：プレキャスト製矩形PC貯水槽

有効容量：貯水槽 3,100m<sup>3</sup>、油水分離槽 500m<sup>3</sup>

最大水深：3.5m

平面寸法：44.700×25.900m

PC鋼材：側壁・底板鋼材 SWPR19 1S19.3 （アンボンド鋼材）

側壁連結鋼材 SBPR1080/1230 φ17

PC梁 SWPR7B 15.2 （プレテンション）

PC床版 SWPR7B 12.7 （プレテンション）

## ◆ 構造・施工概要

- 敷地面積の有効利用のために矩形の貯水槽として計画され、工事工程の短縮と高品質を目的にプレキャスト(PCa)部材を用いたプレストレストコンクリート(PC)構造が採用されました。
  - 側壁は、幅 1.5m、厚さ 0.3m、高さ 4.5m のL形および逆T形のプレキャスト部材を基本構造とし、隅角部など部分的に場所打ちコンクリートを用いています。プレキャスト側壁部材の引き寄せは部材内に配置されたPC鋼棒で行います。
  - 底版および柱はともに場所打ちコンクリートですが、底版にはPC鋼材を配置しています。駐車場となる上屋を構成する梁と床版は、工場製作のプレテンション部材です。PC構造とすることで断面寸法低減と高い耐久性を実現しています。
- PCa 部材の接合部における防水性能は、接合面に配置されたジョイントパッキンをプレストレスによって圧縮することで確保しています。完成後には水張り試験を行い、漏水のないことを確認しています。
- 上屋部分は、積雪深 2m の雪荷重あるいは普通自動車の荷重に耐えられる駐車場施設として設計されました。



側壁部材の据付



底版コンクリート打設



梁・床版部材の設置



油水分離槽（整流壁）



全 景

## ◆ 工程表

項目	平成17年		平成18年						
	12	1	2	3	4	5	6	7	
準備工	■								
土工(掘削)・基礎工		■	■	■					
プレキャスト部材製作		■	■	■	■	■			
プレキャスト側壁部材据付					■				
底版施工					■				
側壁・柱・隔壁施工		■	■	■	■	■	■		
プレキャスト梁・床版部材設置							■	■	
防水工							■	■	
付帯工							■	■	